

## ソフトバンクグループが4.5兆円のプログラムを決定—格付への影響は限定的

以下は、ソフトバンクグループ株式会社（証券コード：9984）の自己株式取得と負債削減のための4.5兆円のプログラムについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 3月23日に当社は取締役会において、自己株式取得と負債削減のために最大4.5兆円の当社保有資産の売却または資金化を決定した。最大2兆円の自己株式取得に加え、残額を負債の償還、社債の買入れ、現預金残高に充当する。これらの取引は今後4四半期にわたって実行する。社債買入を含む負債の大幅削減によってバランスシートをさらに強化するとしている。なお、今回の自己株式取得プログラムは、20年3月13日に発表した5,000億円のプログラムに追加して行うものである。現在、当社は27兆円超の資産を保有し、1.7兆円以上の現預金等を有している。
- (2) 自己株式取得は、優良資産の資金化とその資金の外部流出を意味する。換金性の高い優良資産が減少することで財務上はマイナスの影響が発生する。一方、自己株式の取得に使用した資金以外は負債の削減と現預金残高に充当されることになる。ネット有利子負債の削減が進むことになり、財務上はプラスの影響が発生する。今回の保有資産売却等により調達された資金は自己株式取得と負債削減等に充当され、その割合を考慮すれば、LTV（純負債/保有株式）は現状（3月23日会社公表値18%）に比べ良化する可能性が高いとみている。なお、本プログラムが実施されても、LTVは25%未満で運営するという当社の財務方針に変化は生じない。今後も財務上の一定の安全性は維持され、格付への影響は限定的になると判断している。

（担当）千種 裕之・本西 明久

### 【参考】

発行体：ソフトバンクグループ株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であることを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル